

泉の自治だより

№. 62

発行所 泉自治区連合会
 発行責任者 連 区 長
 事務局 (泉公民館内)
 土岐市泉町中寮町
 〒55-3653
 編集委員長 甲川 清 治

大富区女性部
 絵手紙教室
 奥村すずえ



平成14年度 泉町連合区要望事項と市当局の対応について

平成十四年度泉町連合区の要望事項を、泉町選出市議団と協議の上、代表5人で市長室にて、提出致しました。
 平成十三年度に提出した要望事項の泉分団中核拠点施設が着工の運びになり、嬉しく思います。
 これからも取り上げていただけるように努力したいものです。皆さ
 んのご協力とご指導をよろしくお願い致します。

一、「要望」
 河合地区区画整理事業の推進と旧河合地区の汚水処理施設跡地を利用した多目的施設の建設。
 「回答」
 河合地区の区画整理事業は、組合員皆様の合意形成がなされ組合設立が出来なければ事業の推進はありませぬ。行政としても、要請があれば事業の計画立案等事業内容をわかりやすく説明致します。地元関係者の皆様の同意が一日でも早く進みますようお願い致します。また、汚水処理施設跡地を利用した多目的施設の建設は区画整理事業の計画の中で検討することとなります。

二、「要望」
 泉町陶磁器産業の将来を見据えた、地場産業観光振興のために観光バスが入れる駐車場の確保を是非お願いしたい。
 「回答」
 平成十二年度土岐市産業観光振興計画を地域住民の参加型の調査研究により策定しました。この計画において定林寺地区は久尻瓦葺敷築跡周辺「織部の里」と連携した産業観光モデル地区として、産業観光の拠点地区に位置づけられ、その基盤整備の一つとして駐車場の確保は必要であると考えます。しかし、この構想に基づく産業観光拠点地区としての事業推進の取組みにおいては、地区住民、関係団体で構成する仮称「地区産業観光推進委員会」を立ち上げ、地区の産業観光の方向性を具体化する実施計画を作成する必要があります。貴地区においておられます。貴地区におかれましては、最近、定林寺地区まちづくり委員会を立ち上げられました。今後、委員会の中でソフト、ハード両面に亘ってバランスのとれた実施計画を作成され、地区と市との役割を明確にしながら実現していかなければなりません。駐車場についても当然その中の議論に含まれます。

三、「要望」
 老人福祉センターの建設①旧消防署跡地 ②旧美濃焼ランド跡地
 「回答」
 現在、市には西部老人福祉センター、白寿苑の2箇所あり、類似施設として健康増進施設が計画されつつあります。いずれにいたしましても高齢者社会に入っており、高齢者の人口も益々増加していくことは既成の事実であります。高齢者を中心としたこのような施設の建設は近い将来必要と考えております。環境、安全、利便性を十分に検討し、ご指摘を戴いた場所をも含め建設時には考えていきたいと思っております。

四、「要望」
 土岐市駅前の開発整備の早期実現を
 「回答」
 平成三年、土岐市駅前第二地区市街地再開発準備組合が設立され、組合施行による再開発事業を目的し、活動が始まりました。しかし、各種調整が難航したこと、社会情勢の変化により、現在では再開発事業の実施が困難な状況になっております。平成十年に、中心市街地活性化法が施行されたことを受けて、活力と魅力ある中心市街地を再生するため平成十二年三月に、土岐市中心市街地活性化基本計画を策定しました。現在中心市街地の再生に向けて、土岐商工会議所が中心となつて土岐市中心市街地商業活性化推進事業に取り組んでいます。これは「商

五、「要望」
 大富区西寮町第二地内朝鮮学校校跡地の処理を早急をお願いしたい。
 「回答」
 市では、今までも学校敷地の管理をしてみえる旭商事及び学校側へ草刈りなどとして施設の保全管理等に対処していただこうをお願いしており、今後も適正な管理がされるようお願いして行きたいと考えております。

六、「要望」
 中央自動車道土岐インターと国道21号の立体交差にして欲しい
 「回答」
 多治見工務事務所との調整会議で中央自動車道土岐I・Cと国道21号の交差点改良についてお願ひしてあります。

七、「要望」
 泉町に老人ホームを(久尻地内)
 「回答」
 市には恵風荘がありますが常に満杯状態であり、このような施設(類似施設を含む)は必要であると考えております。今のところ計画はいたしておりませんが、高齢者が増加する中、前向きに検討してまいりたいと思っております。建設場所については、老人福祉センター等の建設の考えと同じように建設時にはご指摘を戴いた地域を含めて考えてまいりたいと思っております。

八、「要望」
 国道19号線池の上交差点付近の整備
 「回答」
 緑ヶ丘・日之出線の道路を計画するときに併せて池の上交差点付近も考えて行きたい。

九、「要望」
 泉小学校南入口の横断歩道の安全対策
 「回答」
 横断歩道自体は公安委員会の設置分になりますので、協議をしてより安全な方向に検討します。また、陸橋については学校改築時の検討課題になります。現在、この19号側の用地がなくありません。

十、「要望」
 泉西小学校の通学道路の拡幅(中央自動車道の拡幅)
 「回答」
 中央自動車道下の拡幅については出来ません。



主婦の店土岐店グループ
 (株)主婦の店土岐店 (株)サンマート (株)イー・エス・シー (株)山岡電泉

地元の新聞 皆様の中日新聞
 チラシで潤う家庭経済
 明るい家庭に中日新聞
 取扱新聞 中日新聞・中日スポーツ・日本経済新聞
 中部経済新聞・証券新聞・工業新聞
 英字新聞 他20種類
 土岐市泉郷町3-35
 中日新聞 平岡新聞舗
 TEL 55-2335

泉町青少年育成町民会議・青少年の主張大会開催 泉町の明日を担っ小中高生の熱い主張

地球温暖化

泉中学校 三年 小久保幸和



国が沈む。そんなことありえない。そう思っていた。いや、と言うより考えたこともなかった。

もし今住んでいるこの町が水没してしまったらどうなるかと想像してみるのがどうにも実感がわかない。しかし、現実には起こりうるのだ。

先日新聞の紙面である記事が目にとまった。赤道の南側にある島国ツバル。文明に汚されていない南の楽園は、地球温暖化によって引き起こされる海面上昇で、沈没の危機にさらされているという。そもそも温暖化とは石油・石炭などの化石燃料の大量使用によって大気中の二酸化炭素は地表から出された熱をなかなか宇宙空間に逃がさないため、温室効果が進むことだ。ツバルの人々は石油を燃やして煙突から煙りをはき出しているだろうか。部屋の中で快適に過ごすために、戸外に熱を逃がしているだろうか。そうではないだろう。正確なところはわからないが、新聞に載せられた写真を見るかぎりでは考えられない。わらぶき

中が協力して取り組まなければいけないだろう。しかし僕には世界を動かせるような力はない。できることといえば、自分の生活を見直し、温暖化を進めるのに力を貸すようなことを避けるよう心がけることしかないだろう。具体的にはクーラの使い過ぎや近くに出かける時に車を使わないなど。僕はとても暑がり、夏になるとよくクーラを使う。体によくないと頭では分かっているけど、暑さには勝てずつい使ってしまう。また買い物に行くとときなど自転車で行く距離ではないが、頼んで車に乗せて行ってもらうこともよくある。どちらも自分の弱さから出てくる行動だ。心がけ次第で何とかなることだと思ふ。特に車についてはすぐにでも実行できる。ただクーラについてはちよつと自信がない。真夏の午後にはついスイッチを出したい。自分がクーラを使っている間にツバルの人々のことを思い出したい。自分がクーラが沈んでいく。島の人々が悲しそうな顔をしている。そう思えばクーラがまんできるかもしれない。自分の弱さにも負けないように。今年の夏は自分に負けないように。そしてツバルの人々を少しでも助けられるように考えて生活したい。同じ地球に住む者として。

一人の人間として

泉中学校 三年 足立 奈穂



「身体障害者」この言葉を聞いてあなたはどんなことを思いますか？多くの人は「普通じゃなくかわいそう」とか「自分とは関係のない言葉」あるいは「関わりを持つ必要がない」と考えていることだと思います。私も小学六年生までこのよう

な思いを持っていました。しかしある出来事をきっかけにこの考えが本当に正しいのかという疑問を抱くようになりました。それは七年ぶりの従兄弟の再会です。私が初めて従兄と会ったのは六歳の時でした。その時親から従兄は病氣だと聴かされ、身体障害者だと分かりましたが、当時六歳の私にこの意味が分かるはずもなく、いつも友達と遊んでいた時と同様、自然に遊び、自然に話して、自然に笑っていました。実際私は従兄を身体障害者と意識したことが一度もありませんでした。しかし六年生にもなると身体障害者という言葉の意味も重みも理解できました。そのせいか従兄と

の再会に対して大きな不安を覚えました。今思うようになったの不思議です。普通なら楽しみ、うれしさといった感情が一番大きいはずですが、けれども私はそんな感情を消し去るくらい大きな不安を抱えていました。それは、私が従兄を一人の人間としてみたのではなく、身体障害者という面しかとらえていなかったせいだと思います。いや、身体障害者という面以外みようと知れません。そしてこの一面しかみていないために、私は変な正義感を抱く結果となりました。それは「助けてあげたい」と思うこととす。人を助けるということとは大切なこととす。けれどもそれがただの自己満足になることもありえるのです。それを私は身を持って経験しました。それを経験したのは、従兄と再会を果たした後、家の中を案内してもらっていた時でした。従兄は「ぎこちない言葉でしたが、一生懸命案内してくれました。そしてちよつと二階のろうかにさしかかると、従兄が急に走りだしました。そしてその先には、小さなボールが……。私はその時、従兄がボールに気づいておらず、このままだらば転んでしまうとはかり思いこんで無我夢中でボールに向かって走り出しました。そしてなんと従兄より先にボールを取り、一人で満足感に包まれていました。そしてはつと我にかえると、そこには悲しそうな顔をした従兄の姿がありました。とっさに私は「どうしたの」と聞きました。すると従兄から「ぼくが、ぼるるとうとうおもったのに。」という思いもよらない言葉が返ってきました。その言葉を聞いて私は自分が正しいと思つてとつた行動が、従兄を傷つけてしまったということに気が付きました。そして、それと同時に従兄の違う一面を見つけたこともできました。それは思いやりのあるやさしい従兄です。そしてこれをきっかけに従兄の沢山の面をみつけることができました。

最後に私が思ったことは、従兄は身体障害者というハンディを持ちながら、この地球社会に生きる一人の人間として一杯生きているということです。そして私たちはそんな人達に手助けや同情をす



建物解体
重機工事一式・砕石・川砂・山砂販売
土木・コンクリート工事
株式会社 マルエス産業



代表取締役 酒井良郎
〒509-5101
土岐市泉町河合819番地の2
TEL (0572) 55-1285(代)
FAX (0572) 55-0437



「もしも」のときにお応えします。

ひまわりの会 会員募集中 入会金無料
提携店での優待割引サービス
●ご葬儀基本費用割引 20%OFF

通夜・葬儀 ホール使用料：50,000円より



土岐市泉大沼町4丁目 ☎(0572)53-4321
0120-44-3421

新しく生まれ変わる学校にご理解を

泉町公立土岐北高等学校長 岩田 守康



日頃は、土岐北高等学校に対してご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

お陰様で、本校の生徒たちは、大変落ち着いて学習活動や部活動などに励んでおります。

さて、本校が開校しました昭和五十年代は、全国的に生徒の急増期で、県内でもこの頃新しく設置された高等学校は、本校を含め十校を超えました。

これは、今の時代に三部制高校が設置される趣旨そのものです。I部(午前)の部、II部(午後)の部、III部(夜間の部)を設け、生徒は自分の生活ペースに合わせていずれかの部を選び、入学して学びます。

平成一十四年四月に県教育委員会から発表された計画によれば、平成十九年度までに、県内の高等学校の数は十校程減ってしまおうということです。

土岐北高等学校は、幸いにも存続することになりましたが、来年度(平成十五年)の生徒募集を停止し、平成十六年度には、普通科の三部制単位制高等学校として本校の地に新しく開校することになりました。

そこで本校では、新しいスタイルの高等学校の開設を目指して、全職員で研究・検討に入りました。職員による「三部制

新校検討委員会」を立ち上げ、新校の青写真をつくるため、それこそ全校をあげて研究に取り組んできています。

その新しい高等学校の現時点での青写真をここに示したいと思います。

1 様々な生活パターンをもつ多様な生徒が、自分の生活ペースに合わせて主体的に学べる高等学校とする。

討した結果、次のようなことも考えました。2 I部(午前の部)は八時四〇分から始業とする。II部は午後、III部は夜間とする。

午前の部を希望してくる生徒の大半は、普通の高校と同じように朝一番から授業を受けたくないと判断しました。

3 三年で卒業することを基本とする。三部制は即ち定時制であるが、従来の定時制高校のように四年以上かけて卒業することを基本としない。

4 生徒が主体的に科目を選択できる幅を広くし、進路希望が十分達成できる学校にする。

単位制高校は、生徒一人一人の選択科目が異なるため時間割が皆違うことになり、本校及び将来の新しい高等学校に

対し、皆、様々な生活パターンをもつ多様な生徒が、自分の生活ペースに合わせて主体的に学べる高等学校とする。

これは、今の時代に三部制高校が設置される趣旨そのものです。I部(午前)の部、II部(午後)の部、III部(夜間の部)を設け、生徒は自分の生活ペースに合わせていずれかの部を選び、入学して学びます。

平成一十四年四月に県教育委員会から発表された計画によれば、平成十九年度までに、県内の高等学校の数は十校程減ってしまおうということです。

土岐北高等学校は、幸いにも存続することになりましたが、来年度(平成十五年)の生徒募集を停止し、平成十六年度には、普通科の三部制単位制高等学校として本校の地に新しく開校することになりました。

そこで本校では、新しいスタイルの高等学校の開設を目指して、全職員で研究・検討に入りました。職員による「三部制

新校検討委員会」を立ち上げ、新校の青写真をつくるため、それこそ全校をあげて研究に取り組んできています。

泉の歴史シリーズ(53)

定林寺の十一面観音菩薩

この時丹羽金右衛門の娘さんが大病か何等かの悩みがあった為に十一面観音様に願を掛け懸命にお参りした結果、その御利益で救われ御礼として新しく佛像を寄進されたと推測されます。

同時に古いお堂の雨もりの為であろうか十一面観音様の台座裏の痛みがひどくなつて、修理された年月や大仏師の名前を書き残しています。

観音堂は三百二十三年後、平成十一年に再度改築され、その正面に納められた十一面観音様は自らの足元である台座裏は今日迄何の支障も無く遠い昔から同じ様におだやかに座っておられます。

定林寺の十一面観音様は現代の人々にも「足元のいかなる痛みも苦しきも治まります」と優しい表情で語りかけておられるかのようです。

かつて丹羽金右衛門の娘さんの心願をお聞き下さったよう、延宝五年八月のこの時から定林寺観音様九万九千日夜祭りが始められたのであります。旧暦の六月は新暦の七月に当ります。

また大富の白山神社の神殿の奥の部屋に古い十一面観音様が残されています。何時製作されたかは不明ですが、頭上の十面の観音様が皆無くなり、本体だけの観音様で二度修理されています。

郷土史同好会 水野輝夫

1 専門知識を生かして進学したい人... 2 自分の将来、関心に合わせて自主的に勉強したい人... 3 マイペースで勉強したい人... 4 働きながら学びたい人... 5 希望の進路を志す人...



やすや



簡易ガス事業

泉北ガス株式会社

本社 55-3765 営業所 55-1819